

長期保存型

環境にやさしい常温舗装材

ハク ソウ

YKアスコン・薄層・PPアスコンは
揮発性有機溶剤(VOC)排出量低減型の常温舗装材です

★今使っておられる常温舗装材は、開封後、袋の中で硬くなり、使えなくなって困っておられませんか。

施工前に揮発性溶剤が気化してしまって、硬くなってしまったのです。

弊社の常温舗装材は、開封後でもずっと変わりなく使え、機能に変化は見られません。

★他社の常温舗装材で不快な臭気を感じられたことがありますか。

この臭気は、揮発性有機溶剤によるもので、健康と環境によくありません。

弊社の常温舗装材は、健康に害を及ぼさない、環境を汚染しない舗装材です。

★ベタつく油分により、手元、足元、作業衣の汚れが気になりませんか。

揮発性溶剤に溶かされ液化したアスファルトが汚れの原因です。

弊社の常温舗装材は、アスファルトが乾いた状態で骨材に被膜しているため、作業衣等へ付着しにくい舗装材です。

★施工後、雨が降った後など油が流れ出て住民から苦情を言われたことがありますか。

これは、常温舗装材から揮発性有機溶剤が滲み出したものです。

弊社の常温舗装材は、油で環境を汚染することはありません。

一般舗装用

YKアスコン

国土交通省

新技術情報システム(NETIS)
登録番号 No.KK-000016-A

薄層舗装用

薄 層

国土交通省

新技術情報システム(NETIS)
登録番号 No.KK-000018-A

透水舗装用

PPアスコン

国土交通省

新技術情報システム(NETIS)
登録番号 No.KK-000019-A



YKアスコン、薄層は
「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

一般舗装用・全天候型

YKアスコン

- ベトベトしません。
- 長期保存が可能です。
(開封後1~2年使用可能)
- 施工直後から交通開放しても流動しません。



密粒型(最大骨材13mm)
細粒型(最大骨材7mm)
袋詰25kg・15kg
(ワンタッチ開封)



施工中



「YKアスコン」は、硬質アスファルトを特殊な方法で、優れた感圧性と粘弾性を持つよう改質したものを結合材としています。そのままではバラバラの状態ですが、外部からの圧力が加えられると、互いに固着して強固な舗装になります。



施工後

施工方法

- 1 | 换修箇所の砂、土等のホコリ類は充分に除去して下さい。

完全な除去が困難な場合はアスファルト乳剤かアスファルトスプレーを散布してホコリを包み込んで下さい。

- 2 | 気温が10°C以下の場合は乳剤かアスファルトスプレーでタックコートして下さい。

- 3 | 従来の舗装と同じ方法で施工して下さい。

スリ付け部分の粗骨材は中央部に掃き込むか取り除いて下さい。

- 4 | 一層の厚さは

ビブロプレート及び電動タンパ転圧の場合は25mmまでを一層で仕上げて下さい。

1トン以上の振動ローラー転圧の場合は50mmまでを一層で仕上げて下さい。

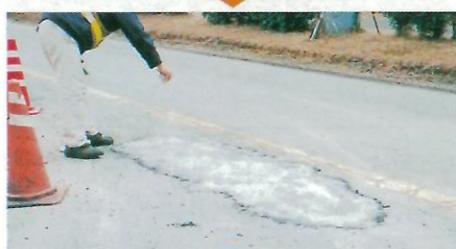
転圧機なしの場合(足踏み転圧)は25mmまでを一層で仕上げて、沈下した場合は再補填して下さい。

- 5 | 転圧機に舗装材が付着するときは、水か、石粉を散布して下さい。

- 6 | 施工後直ぐ開放しても大丈夫です。

大きな面積の補修状態

揮発性有機溶剤の入った常温舗装材と一緒に使用しないで下さい。
施工後流動のおそれがあります。



「薄層」は、硬質アスファルトに適度の粘弾性をもたせるように改質したものを結合材として使用していますので、十分な強度と耐久性を持った舗装材です。施工するまではサラサラの粉粒状態ですが、ある程度の圧力を加えて転圧すると、結合材が互いに融着して強固な塊になります。

施工方法

1 施工路面を充分に清掃して下さい。

2 出来るだけ薄くタックコートして下さい。厚く塗ると『薄層』が飛散します。

タックコートにはアスファルト乳剤かアスファルツプレーを用いて下さい。

3 『薄層』は袋のまま揉んで、ゆるめてからお使い下さい。

4 敷き均しにはレーキか左官コテで均して下さい。

1層の厚さは15mm以下に施工して下さい。
それ以上はYKアスコンを下層に敷いて下さい。

5 転圧は車のタイヤで2~3回踏むか、足でていねいに踏んで下さい。
踏んだ分だけ固くなります。

ビブロプレート等転圧機材も使用できますが、振動により材料が踊り、飛散する場合があります。

6 凸凹のあるところは、再度『薄層』で修正すると表面が美しく仕上がります。

7 石粉を散布して交通解放して下さい。

薄層舗装用

ハク
薄 層
ソウ



- 長期保存が可能です。
(開封後1~2年使用可能)
- 施工直後から交通開放できます。
(養生不要)



①施工前



②タックコート施工(アスファルツプレー)



③薄層充填



④敷き均し(金ゴテ)



⑤転圧(車輪)



⑥施工後

PPアスコン

- 施工直後から交通開放できます。(養生不要)
- 長期保存が可能です。(開封後1~2年使用可能)



単粒透水型(5~2.5mm)
袋詰25kg(ワンタッチ開封)

突き固め温度と密度・透水・カンタプロ試験結果表						
突き固め温度	20°C	30°C	50°C	60°C	70°C	80°C
かさ密度	1,789	1,836	1,912	1,997	2,015	2,015
透水試験	11.5×10 ⁻¹	9.20×10 ⁻²	8.13×10 ⁻²	7.50×10 ⁻²	6.58×10 ⁻²	2.28×10 ⁻²
カンタプロー	59%	59%	43.2%	20.2%	15.8%	12.9%

適正值

排水性舗装を従来型(揮発性溶剤含有)の常温舗装材で補修した場合の悪例



溶剤の浸透悪状態



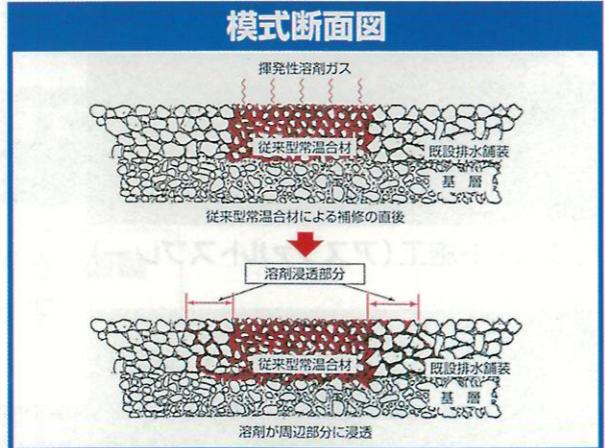
タイヤに付着した溶剤の拡散

従来型常温混合材で補修された破壊状態



補修前の開削状況

模式断面図



従来型常温舗装材で補修された箇所の周辺は揮発性有機溶剤で侵蝕されて軟化しています。その場所を再補修する場合は軟化した部分を完全に取り除いて下さい。PPアスコンが軟化するおそれがあります。

「PPアスコン」は、碎石の周囲が高粘度アスファルトでコーティングされたまま、一粒一粒がバラバラの粒状になっています。施工転圧後、バラバラの粒は互いに固着して、強固で透水性に優れた舗装になります。荷重をかけて固める材料ですので、自重で骨材と骨材が付着して固くなることがあります。使用前に袋の上からよく揉みほぐして下さい。また冬期には、アスファルトが硬くなる性質を持っているため、路面や材料をバーナーで軽く暖めてください。材料表面のアスファルトが軟化し、付着しやすくなります。

施工方法

1 | 補修箇所を充分に掃除して下さい。

浮き石を充分に除去して下さい。



2 | 薄くタックコートをして下さい。

アスファルトスプレーの散布をお薦めします。
市販のスプレー類は使用しないで下さい。
(飛散の原因になります。)



3 | 既設路面より少し高めに敷き均し、 転圧機械で充分締め固めて下さい。 各層に分けて施工すると強固になります。

1層の厚さを2~3cm程度までに敷き均して下さい。



4 | 最後の敷き均し後に、バーナーで焙って、 再転圧すると更に強固になります。 バーナーはホーキで掃くように軽く 焙って下さい。



5 | 施工後直ぐ開放して通行車両の自然転圧 に任せて下さい。

従来型常温舗装材の問題点

従来型常温舗装材には、これに流動性を持たすために、揮発性有機溶剤（主に灯油）が加えられている。施工後に舗装材が固化するのは、この溶剤が揮発して舗装材から離脱することに拠る。ここで、大気中へ発散した溶剤蒸気が、人体並びに地球環境に及ぼす悪影響に留意したい。

揮発性有機化合物(VOC)が環境に及ぼす悪影響

- ★作業員並びに近隣住民に不快感
- ★浮遊粒子状物質(SPM)の主な原因とされ
長期に亘る吸引では慢性的悪影響
- ★光化学オキシダントの主な原因とされ
光化学スモッグの要因
- ★シックハウス症候群、シックビル症候群の要因
- ★土壤汚染や地下水汚染の要因
- ★保管倉庫内の引火の危険

保管・使用上のお願い：アスファルトは気温の低下とともに硬くなる性質があります。
寒期には、直接冷気のあたらない場所に保管するか防寒シート等を被せて保管することをお願いします。また、使用前には袋の上からよく揉んでお使い下さい。